2024全学共通科目
第二外国語事前登録の手引き

ロシア語
ドイツ語
フランス語
中国語
韓国朝鮮語
スペイン語

CHUKYO UNIVERSITY

入学試験合格者のみなさんへ

みなさん、合格おめでとうございます。

中京大学では、入学後の学習をスムーズに始められるように、全学共通科目の「第二外国語」のどの言語を選択したいのか、事前に希望をお聞きすることになっています。その参考にしてもらうためにこの資料をお送りします。

希望をお聞きするといっても、実際には各言語クラスには定員が定められているため、必ずしも希望する言語を履修できるわけではありません。第1希望から第6希望を選択していただいた後に、抽選により選択言語を決定します。

したがって、この資料を確認する場合には、すべての言語のページに目を通しておくようにしてください。

大学のカリキュラムは、「全学共通科目」と「学部固有科目」の2本柱となっています。「全学共通科目」とは本学のすべての学生に対して開かれている科目で、人文科学、社会科学、自然科学、語学、体育など、さまざまな分野から構成されます。

本学では専門科目だけではなく全学共通科目も履修することになっています。全学共通科目の主な目標は、「論理的思考力」と「コミュニケーション能力」を培い、大学生にふさわしい「総合的な知」を身につけることです。この三つの力は、みなさんが将来どのような方面に進むことになっても必要となるものですから、大学生の内に必ず身につけておいてください。

全学共通科目の多くは1年から4年までいつでも履修できるようになっています。また、科目選択の自由度も大きくしてありますから、自分の興味のある科目を自由に選んで履修することができます。ただしこの冊子に記載した「第二外国語」だけは、入学前に希望する言語を第1希望から第6希望まで決定しなければなりません。次頁からの説明をよく読んで、登録画面より第1希望から第6希望までの言語を選択入力してください。

それでは、入学式でみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

第二外国語選択にあたって

外国語を学ぶことは、新しい視点からものを考え、いっそう幅広い知識を得るという効用があります。みなさんは、これから英語以外にもう一つの外国語（第二外国語）を学ぶことになります。

第二外国語への案内状として、この冊子を作りました。まずこの手引きを熟読してから、どの外国語を選ぶかを決めてください。

言語選択の留意事項

①受講できる開講言語は【ロシア語・ドイツ語・フランス語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語】の6言語です。1年生では、このうちの1言語に関する基礎科目を学習します。

②第二外国語は各クラスの定員を設定しており、抽選により選択言語を決定します。必ずしも希望する言語を履修できるわけではありません。

③登録画面より第1希望から第6希望までの言語を選択入力してください。

④抽選により決定した言語は、入学後のガイダンス時に発表します。

⑤「提出された希望順位」及び「決定した言語」については、変更することはできません。

1年生は選択した第二外国語の「基礎A」・「基礎B」の両方を必修科目として履修します。2年生以上では、さらに勉強を続けたい人のために、選択科目として各言語の演習・応用クラスが開かれています。なお、この演習・応用クラスは、2年次以降受講できる「教養発展科目」に含まれています。卒業所要単位のうち2単位は「教養発展科目」の中から修得しなければなりませんので、選択肢の一つとして演習・応用クラスの履修も視野に入れておくとよいでしょう。

全学共通科目　第二外国語　教育目的と学修成果

中京大学は学士課程教育の「３つの方針」を制定し、全学をあげて取り組んでいます。

学士課程教育における３つの方針

学位授与の方針

教育課程の編成・実施方針

入学者受け入れの方針

「教育課程の編成・実施方針」の中に、全学共通科目の**教育目的**、第二外国語の**学修成果**が定められています。

【全学共通教育】

教養教育研究院では、以下の成果を目指し、全学を対象に教養教育を行う。

１．他者との対話や相互理解を可能にするためのコミュニケーション能力を身につける。

２．健康・スポーツの広範な知識を活かし、心身の健康と体力の維持・増進を図る。

３．自然・人文・社会科学についての知識を幅広く学修し、自身が生きる世界についての見識を持つ。

４．国内外の多様な文化・社会に触れ、現代的な諸課題を多面的に理解し、適切な行動を自ら選び取れる力を身につける。

こうした教養教育を重視することにより、自己の価値観や倫理観を相対化し、国際社会の発展に寄与する市民を養成することが、本学の教養教育の目指すところである。

【言語教育：ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国朝鮮語、日本語】

１．読む・書く・聞く・話すという基本的技能を身につけ、場面状況に応じて適切なコミュニケーションができる。

２．各言語圏の文化や社会とその多様性を理解し、それについて自らの考えを述べることができる。

３．日本語学修者（留学生）は大学での学修を可能にする高度な日本語運用能力を身につけ、口頭での発表やレポートを作成することができる。

中京大学では、第二外国語を学ぶことにより、学修成果1、2を身につけることを目指します。しっかり学んでいきましょう！